

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可  
平成21年5月20日発行(毎月1回20日発行)  
物性研究 第92巻 第2号

ISSN 0525-2997

vol.92

no.2

# 物性研究

2009 / 5

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不相当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文中で引用する時には、Bussei Kenkyu **90** (2008), 1.のように引用して下さい。

#### [原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
  - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
  - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
  - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
  - 4) 図や表は本文中の該当個所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
  - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学 湯川記念館内  
物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

## 決算報告

2008年度の決算報告がこの程まとまりましたので、下記の通り、報告します。

物性研究編集長

### 2008年度 決算書

(2008年4月1日～2009年3月31日)

1. 収入の部 (円)

区 分	金 額
前年度繰越額	5,870,781
個人会費	1,016,660
機関会費	3,098,385
別刷代金	27,500
その他(著作権料等)	16,588
計	10,029,914

2. 支出の部 (円)

区 分	金 額
印刷費	3,360,092
送料等	341,997
編集費	89,700
事務費	118,125
事務委託料	642,806
別刷制作費	159,828
次年度繰越額	5,317,366
計	10,029,914

3. 年間収支差額 (円)

区 分	金 額
収入額	4,159,133
支出額	4,712,548
差引額	-553,415

## 編集後記

先日、書店で「それは〇〇学ではありません」という刺激的な題名の本を見かけました。〇〇のところには具体的な文系学問の名前がはいります。この本を手にとって見ていないので、この題名をつけた著者の心はわからないのですが妙に記憶にのこる題名でした。この本は題名勝負の新書ではなく、装丁から判断してその分野の専門書だという印象を受けました。

考察対象を食欲に拡げていく物理学の場合でも、しばしば研究会後の懇親会などで「あれは面白い現象だけれども物理になるのかねえ？」といった(ちょっと意地悪な)話になったりすることがあります。物理か否かについては、個人個人の矜持のようなものの内に何か判断基準があるのかもしれないですし、ちょっと怪しいことを喋る人が研究者として信頼できるかどうかで決まることなのかもしれません。

聞きかじった話ですが、数学では定理を証明する枠をこえた数学の営みを”theoretical mathematics”という名前と呼ぶことがあるそうです。数学的厳密さにこだわらない発想による作業(例えば、予想をたてること)を理論物理学からの連想でこのように名付けているようです。これには当然、良い面と悪い面があり、うまく使うための処方箋などが A. Jaffe & F. Quinn, Bull. American Math. Soc. 29, 1-13 (1993) で論じられています。

物理の場合だと、複雑すぎると考えられていた現象が大胆な仮定による単純化や複雑さのなかの普遍的構造に気付いたことによって、次第に物理の問題になるのが典型例なのだと思います。しかし、物理自体も変化しているとすれば少し違う発展史が見えるのかもしれません。

(春日湯)

[物性研究]

編集長

村瀬 雅俊 (京大・基研)

編集委員

荒木 武昭 (京大・理・物理)  
高橋 義朗 (京大・理・物理)  
武末 真二 (京大・理・物理)  
松本 剛 (京大・理・物理)  
陰山 洋 (京大・理・化学)  
遠山 貴己 (京大・基研)  
戸塚 圭介 (京大・基研)  
早川 尚男 (京大・基研)  
森成 隆夫 (京大・基研)  
和田 浩史 (京大・基研)

各地編集委員

柳田 達雄 (北大・電子研)  
泉田 渉 (東北大・理・物理)  
柳瀬 陽一 (東大・理・物理)  
波多野 恭弘 (東大・地震研)  
笹本 智弘 (千葉大・理・数学・情報数理)  
樋口 雅彦 (信州大・理・物理)  
小西 哲郎 (名大・理・物理)  
湯川 論 (阪大・理・宇宙地球)  
狐崎 創 (奈良女大・理・物理)  
水島 健 (岡大・理・物理)  
柴田 達夫 (広大・理・数理分子生命)  
坂口 英継 (九大・総理工・量子プロセス)  
関本 謙 (Paris 第7大学・物理)  
大木谷 耕司 (Sheffield 大学・応用数学)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

---

物 性 研 究 第 92 卷 第 2 号 (平成 21 年 5 月号) 2009 年 5 月 20 月 発行

発行人 村 瀬 雅 俊

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学湯川記念館内

印刷所 中西印刷株式会社

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学湯川記念館内

年額 19,200 円

---

## 会員規定

### 個人会員

#### 1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

**年会費 9,600円**

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 **01010-6-5312**

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

#### 3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

#### 4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

### 機関会員

#### 1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

#### 2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

**雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。**

## 物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学 湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 92-2 (5月号) 目 次

○修士論文 (2008年度)

傾斜した異方的ディラックコーンのランダウ準位と層間磁気抵抗  
..... 樋村 隆弘 ..... 151

量子ドットにおける熱電効果と揺らぎの定理 ..... 伊與田 英輝 ..... 188

○決算報告 ..... 246

○編集後記 ..... 247